

心の輪を広げる体験作文 小学生部門 ◆優秀賞

「津久井しえん学校に、行って」

相模原市立桂北小学校 三年 福島 琴葉

ひくしま ことうは

わたしは、津久井しえん学校に、行きました。そこで、わたしは、しょうがいのある子とパラバルーンであそびました。すごく楽しかったです。パラバルーンとは、丸いぬのの上に、風船を、のせて、もってまわったり上にあげたり、下に、さげたりして、風船を落とさないようにするあそびです。このあそびならしょうがいのあつ子も、楽しくあそべます。

わたしは、パラバルーンをやってみて、しょうがいのある子と、ふつうの日にあえたらもつと一日が楽しくなると思いました。話したりいっしょにべんきょうしたりしたらもつと楽しくなります。そしてたらみんなながよくなつて、しあわせになると思います。だからもうすこしふつうにあえたらうれしいです。

しゃべりづらい子は、すらすらしゃべれないから大人に手つだつてもらわないと大へんです。そういうときは、まわりの人や自分がつたすければいいと思います。一人で歩けない子には、車いすをおしてあげればいいんじゃないかと思います。わたしも、足をねんざしたとき車いすにのりました。たしかに、お母さんがおしていたと

き、だんさや、スロープが遠かったので、大へんでした。津久井し  
えん学校のげんかんには、だんさがありませんでした。だけど、わ  
たしの学校や、えきには、だんさがいっぱいありました。車いすの  
子や目の見えない子は、けっこうふべんなのでまず少しずつたても  
のや、まわりをかえられればいいと思いました。

耳が、きこえない子は、ちよつとふべんなのでみんながちよつと  
でもいいから手話をおぼえられればいいと思います。

わたしは、しょうがいをもつ子といっしょにあそぶのは楽しかつ  
たです。また、一月か二月にあえるのが楽しみです。